

## 第2回写真・動画コンテスト部会 議事録

開催日時	令和元年7月9日（火）19:00～20:00
開催場所	知立市役所現業棟 第10会議室
出席者	10名/11名
欠席者	1名/11名（磯村洋子委員）
事務局	企画政策課長補佐 政策係担当
1. 事業の大枠について	
<p>・鈴村部会長より、本事業の大枠として、①紙で受け付ける写真部門、②Instagram等電子データで受け付ける写真部門、③動画部門の3つに分ける提案がなされた。</p> <p>→委員一同賛成。3部門それぞれに中心的役割を担う方を選ぶことにし、①池田委員、②欄山委員、③井上委員に決定。鈴村部会長は3部門の取りまとめを行う。ただ、3部門の中心委員に任せきりではなく、あくまで主立って案等をまとめてもらう立場とする。</p> <p>・小橋委員より、コンテストとは別に、知立市&amp;ちりゅっぴPR部長である北川綾巴さんも出演するシティプロモーション動画を作成する提案がなされた。</p> <p>→検討の結果、北川さんは9月末まででSKEの活動を卒業すると発表しており、今後の知立市との連携についての詳細が未定である現状や、部会があくまで写真・動画コンテストの開催を趣旨としている点、市が主導しシティプロモーション動画を作成する予定である点等を踏まえ、部会でのシティプロモーション動画の作成は見送ることになる。</p>	
2. 事業内容等について	
<p>・鈴村部会長より、下記の提案がなされ、委員一同賛成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11月8日のパティオでの事業実施日に来場者に観てもらえるような展示方法をとる。</li> <li>● 基本的には、応募のあった全ての作品を展示する（公序良俗に反する作品に限り除外）。</li> <li>● 展示場所はギャラリーを基本とする。動画の放映等、必要に応じワークショップ室の利用も選択肢とする。</li> <li>● 審査は、「市長賞」「議長賞」のように、市長や議長に気に入ったものを選んでもらう形式とする。</li> <li>● 動画の長さについては、15～30秒程度のものとする。内容は「知立市のCM」。ユーモアに富んだ作品でもOK。</li> </ul> <p>・展示方法について、鈴村部会長より議題提示があり、協議を行った。その中で、様々なサイズの作品をB紙に貼り付けての展示（池田委員）、サイズが違ってA4の台紙に貼り付け統一感を出すような展示（小橋委員）、コンテストという趣旨から作品自体の規格を統一する展示（近藤委員）という提案がなされた。</p> <p>→検討の結果、小学生等若い世代を含んだイベントとするためには、サイズを統一しない方が応募のハードルが低くなり、良いということになる（サイズの加工の必要がなくなるため）。優劣を競うコンテストというより展示会の要素を強くすることにする。</p>	
3. その他関係団体等への協力及び共有事項について	
<p>・40周年時「知立の風景40選」の応募総数について（事務局）</p> <p>→データ送付は28作品/14名、紙ベースは35作品/18名の応募があった。計63作品/32名。</p> <p>・賞金を現金にするのは事務局に確認したところOK。（鈴村部会長）</p>	

・学校への協力を仰ぐのはどうか。(欄山委員)

→依頼をした場合、学校教育課⇒各校長⇒各学校というトップダウンで依頼が下りていき、協力は仰げられると思われるが、学校の多忙な現状を踏まえると強制的な依頼となってしまうことに抵抗がある。あくまで広報等で周知する自主的な事業のPRを行うこととする。

・12月に開催される“ちこフェス”でも似たイベントをしている。コンテストの作品を展示するものはどうか。(小橋委員)

#### 4. 次回までの課題

・池田委員、欄山委員、井上委員は、次回開催時まで、各委員案を参考に、担当部門のプラン案を作成する。プラン案は事務局に次回開催日までにメールする。事務局で次回資料として委員に共有できるように用意する。

・第4回までに予算を確定しなければならないため、備品等の見積もりが必要な場合、随時事務局まで情報提供する。

・次回は、8月20日(火) 19:00から第10会議室で開催する。